

鍛圧機械 全会員受注グラフ (月次業況調査)

一般社団法人 日本鍛圧機械工業会

2025年2月12日

2025年1月度 鍛圧機械 全会員受注動向 月次業況調査コメント

- 概況 受注総合計は253.1億円で、前年同月比で2.1%の減となった。当月は板金系とサービス系が前年比増となり、プレス系のみが前年割れとなった。特に板金系は4カ月連続で前年比増となっており、回復の兆しが見えてきたと思われるが、今後、米国の関税問題もあり不透明観が拭えない状況がしばらく続くと見られる。
- 機種別 プレス系機械が83.0億円で14.4%の減となった。超大型プレスのみ2.6倍増で、小型プレス11.8%減、中型プレス49.3%減、大型プレス45.9%減、油圧プレス42.2%減、フォーミング48.1%減であった。板金系機械は87.5億円で5.4%の増で、パンチング57.5%増、ブレーキ・シヤ-0.3%微増で、レーザ・プラスマのみ24.1%減であった。サービス系は82.5億円で5.2%増であった。
- 内外別 国内は92.5億円で10.4%の減となった。輸送17.4%増、電気79.2%増であったが、鉄鋼29.6%減、金属35.9%減、一般10.4%減であった。
(機種計) 輸出は78.0億円で1.6%の増であった。北米向3.7%増、インド向37.9%増となったが、中国向が29.1%減、欧州向43.7%減、東南アジア向31.3%減であった。

鍛圧機械 全会員受注動向 月次業況調査 推移グラフ



